

科目 文学国語		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	
○生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		○深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】		○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			読 書	読					
1 学 期	近代の小説／「山月記」（中島敦）	・本文全体から、虎になる前の季徴の人物を箇条書きで整理し、文章でまとめる。 ・季徴自身は、自分が虎になったのはなぜだと考えているかをまとめる。	○	○	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	○			11
	第1学期中間考査			○			○		
	戦争と文学（二）／「夏の花」（原民喜）	・「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。 ・「私」の原爆投下直後の様子がどのように描かれているかを理解する。 ・「N」の動きと心情を理解する。 ・なぜ最後に「N」の話が置かれているのかを考える。	○	○	文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 小説の表現や描写の特徴とその効果について、積極的に理解を深めようとしている。	○			8
	第1学期期末考査			○			○		
	読書活動①「点検読書／新書」	・新書について知る。 ・奥付の見方を理解する。 ・新書の「点検読書」を通じて、本の選び方や読み方を習得する。 ・図書館の本に触れる。		○	小論文作成や進路活動に生かすために、新書について理解しようとしている。	○			1
	読書活動②「書評作成」	・図書室にある新書を一冊選んで読み、書評を書く。		○	新書を一冊選び、内容をメモしながら読むとしている。			○	2
2 学 期	読書活動②「書評作成」	・図書室にある新書を一冊選んで読み、書評を書く。 ・作成した書評を発表する。		○	自分で選んだ新書の書評を作成している。 作成した書評を発表した上で、他者の発表を聞こうとしている。		○		2
	「こころ」（夏目漱石）	・「私（＝先生）」のKに対する心情を整理する。 ・Kが用いた「覚悟」という言葉を「私」はどのように解釈しているかを時間の経過に従ってまとめる。 ・「覚悟」という言葉をKはどのような意味で用いたのかを考える。 ・Kの自殺を発見したときの「私」の心情と行動はどのようなものだったかをまとめる。 ・Kの手紙の内容をまとめ、Kの自殺の理由を考える。 ・作品の主題を話し合う。	○	○	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	○			
	第2学期中間考査			○			○		
	「こころ」（夏目漱石）	・「私（＝先生）」のKに対する心情を整理する。 ・Kが用いた「覚悟」という言葉を「私」はどのように解釈しているかを時間の経過に従ってまとめる。 ・「覚悟」という言葉をKはどのような意味で用いたのかを考える。 ・Kの自殺を発見したときの「私」の心情と行動はどのようなものだったかをまとめる。 ・Kの手紙の内容をまとめ、Kの自殺の理由を考える。 ・作品の主題を話し合う。	○	○	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	○			5
	近代の詩/永訣の朝（宮沢賢治）	・「兜率の天の食」は、「天上のアイスクリーム」とあったものが後に書き換えられた表現だが、このことによって読者が受ける印象はどのように変わるかを説明する。 ・「わたくし」の「いもうと」に対する心情変化を整理する。 ・「松の針」「無声痛哭」も合わせて読み、宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりについて、感じたことを話し合う。	○	○	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	○			8
	第2学期期末考査			○			○		
近代の小説（一）/檸檬（梶井基次郎）	・梶井基次郎について調査する。		○	作者調べを通して、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。			○	1	
3 学 期	近代の小説（一）/檸檬（梶井基次郎）	・「私」は「檸檬」をどのように感じているかを本文に沿ってまとめる。 ・「二銭や三銭のもの」といって贅沢なもの、美しいものという無気力な私の触角にむしる媚びてくるもの、一そういったものが自然私を慰めるのだ」とは、どういうことかを説明する。 ・「第二のアイディア」からは、「私」のどのような願望がうかがえるかを説明する。 ・心の不可思議さについて、自分が経験したことを八百字程度で書く。	○	○	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	○			19
	学年末考査			○			○		
	学年末考査			○			○		1